令和２年10月23日発行　第191号

こうふ町 議会だより

決算認定……2P～11P
補正予算……12P
一般質問……14P～17P

議会のことをわかりやすくお伝えします

献上米刈り取り風景

9月定例会

令和元年度 決算歳出総額 49億7,671万円を認定

一般会計 36億8,879万円　特別会計 12億8,792万円

令和２年度９月定例会は７日召集され、会期を23日までの17日間として開かれた。
今回の定例会は令和元年度一般会計と14の特別会計の決算・令和２年度補正予算等提出議案３５件を審議し、すべて原案通り可決した。
なお、本会議初日に令和元年度決算に係る財政の健全化判断比率及び、公営企業会計の資金不足比率について下記の通り報告がなされた。

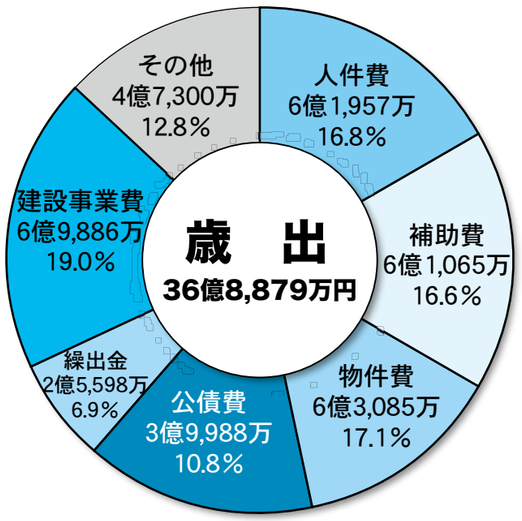
令和元年度財政の健全化判断比率

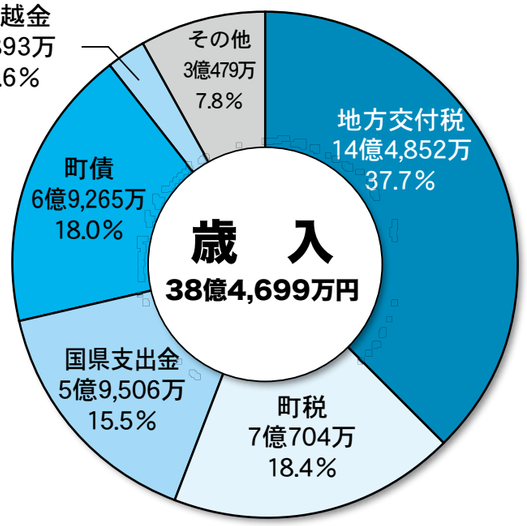
比率名	令和元年度（%）	早期健全化基準（%）
実質赤字比率	—	１５.０
連結実質赤字比率	—	２０.０
実質公債費比率	１３.４	２５.０
将来負担比率	８１.９	３５０.０

令和元年度公営企業会計資金不足比率

会計名	令和元年度（%）	経営健全化基準（%）
簡易水道事業	—	２０.０
下水道等事業	—	２０.０
索道事業	—	２０.０

一般会計





昨年度の主な事業

事業名	事業の内容	費用
交流施設管理費	奥大山チロルの里多目的施設 トイレ改修工事	327万円
新庁舎建設事業費	新庁舎建設工事等	36,410万円
地域おこし支援事業費	地域おこし協力隊員活動報償費 及び活動補助金等（３人分）	1,263万円
防災情報通信施設整備事業費	令和３年１月からデジタル防災無線に移行 するための整備工事請負費等	10,574万円
ふるさと納税推進事業	令和元年度９４７件１，５５８万円の寄付 があった。返礼品報償費等	562万円
移住定住促進事業費	本町四丁目お試し住宅改修工事請負費	1,100万円
ナラ枯れ駆除事業	ナラ枯れ駆除委託	900万円
介護老人保健施設整備費	送迎車購入、給湯器取替工事	772万円

ナラ枯れが進む奥大山

特別会計（１４会計）の状況

特　別　会　計	歳　入	歳　出	収　支	繰入金
西部情報公開・個人情報保護審査会	39万円	2万円	37万円	0
住宅新築資金貸付事業	178万円	61万円	117万円	0
国民健康保険（事業勘定）	3億5,294万円	3億4,776万円	518万円	2,109万円
国民健康保険（施設勘定）	2億2,052万円	2億1,958万円	94万円	3,475万円
介護保険事業（保険事業勘定）	6億2,890万円	5億8,066万円	4,824万円	9,481万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	211万円	193万円	18万円	0
介護老人保健施設	5,479万円	5,479万円	0	1,689万円
後期高齢者医療	4,792万円	4,733万円	59万円	1,659万円
索道事業	2,621万円	2,621万円	0	2,574万円
江尾財産区	230万円	8万円	222万円	0
神奈川財産区	163万円	98万円	65万円	0
米沢財産区	880万円	797万円	83万円	0
合　　計	**13億4,829万円**	**12億8,792万円**	**6,037万円**	**2億987万円**

公　営　企　業　会　計	収　入	支　出	収　支
簡易水道事業			
収益的収入及び支出	1億269万円	1億3,047万円	△2,778万円
資本的収入及び支出	5,941万円	8,637万円	△2,696万円
下水道等事業			
収益的収入及び支出	1億7,380万円	1億8,726万円	△1,346万円
資本的収入及び支出	1億6,550万円	2億213万円	△3,663万円

令和２年第５回江府町議会６月臨時会（審議結果）

令和２年６月30日臨時議会が招集され５議案が提案され、いずれも原案通り可決された。

1、町営バス新車購入事業契約の締結について
鳥取西部農業協同組合江府支所と契約することを承認した。
契約価格、1，083万円

2、江府町デジタル防災行政無線整備工事請負変更契約の締結について
東芝インフラシステムズ株式会社と変更契約を締結することを承認した。
変更後、2億4，698万円　増減額751万円

3、江府町新庁舎建設工事請負変更契約の締結について
大松建設・大協組・岩崎組特定建設工事共同企業体と変更契約を締結することを承認した。
変更後、9億1，714万円　増減額2，614万円

4、令和２年度鳥取県江府町一般会計補正予算（第５号）
歳入歳出それぞれ3，873万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ46億1，707万円とする。

5、江府町固定資産評価委員会委員の選任について
任期満了に伴う後任の委員を選任し同意した。
新しい委員は岡本一也氏。

令和２年度第６回江府町議会８月臨時会（審議結果）

令和２年８月７日臨時議会招集され２議案が提案され、いずれも原案通り可決された。

1、町営タクシー新車購入事業契約の締結について
合同会社江府自動車と契約することを承認した。
契約価格、810万円

2、令和２年度鳥取県江府町一般会計補正予算（第６号）
歳入歳出それぞれ2，515万円を追加し総額を歳入歳出それぞれ46億4，223万円とする。

令和元年度 江府町歳入歳出決算審査意見書

岡田雄成代表監査委員

審査の対象及び期間
令和元年度におけるすべての会計について令和２年７月27日～令和２年８月７日まで２名の監査委員により審査しました。以下、審査総括の概要をお知らせします。

総　括

①令和元年度の一般会計決算状況をみると、歳入総額38億4,699万1千円、歳出総額36億8,879万2千円で、歳入歳出差引額が、1億5,819万9千円である。うち、670万2千円が繰越明許費繰越額で、実質収支額は、1億5,149万7千円である。歳出をみると、建設事業費、積立金、投資、出資及び貸付金等が増加したものの、物件費、交際費、維持補修費等は減少し、前年度に比べ5億1,821万1千円、率にして16.3％増加の、36億8,879万2千円となっている。歳入は、町債、地方交付税、繰入金等が増加したが、繰越金、町税、国庫支出金は減少し、歳入合計は前年度に比べ5億7,747万9千円、率にして、17.7％増加の38億4,699万1千円となっている。地方交付税については、総額14億4,852万1千円で前年度に比べ、1億1,320万9千円の増加となっている。また、地方交付税の算定基礎となる基準財政需要額は17億8,677万5千円で、前年比3,196万3千円の増となっている。基準財政収入額の算定基礎である町税は、7億704万4千円で、前年比1,477万4千円の減となっている。固定資産税の今後の見込みは、５年後に、４億9,284万9千円で、令和２年度に比べ、8,107万6千円となる見込みである。

②財政状況指標をみると、経常収支比率は前年度に比べ3.3ポイント減少し、86.9％となっている。実質公債比率（３ヶ年平均）は、13.4％と前年度より、0.8ポイント増加した。（早期健全化基準は25％以下）将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率は81.9％と前年度より、10.6ポイント上昇している。財政状況の指標的には、差し当たって問題は無いが、今後も計画的な事業展開とともに、最小限の起債発行額にとどめるなど、更なる将来負担の抑制に努められたい。

③念願の新庁舎建設工事が令和元年８月から令和３年１月に実施され、請負金額は11億766万7千円で、一部が繰越明許費になっている。工事内容は、新庁舎建設工事、同監理業務、外構工事等が実施され、車庫棟工事等は、翌年度以降に施工される予定である。現役場の職員駐車場の借地、２筆の978㎡が不要になるため、年度末には所有者に返還される。

④大雨特別警報が日本各地で頻繁に発令されている。温暖化のせいか、異常事態というほかはない。それを受けて国が始めたのが、県内所在ダムの事前放流である。本町が関係する俣野ダムと菅沢ダムが事前放流を実施すれば、工夫次第で水量が抑えられ、大きな氾濫は少なくなると考えられる。また新型コロナウィルスの感染拡大についても、国、県、町と地元住民が一つになってこの異常事態を乗り越え、町民の生活の安心・安全の確保に努力されることを要望する。

留意事項

①町税、国民保険税、上下水料等の未収金について、各課で連携をとり、徴収に努力されたい。

②江府町観光協会の事業報告において木谷沢渓流ツアーの参加人数が1，700名、売り上げは約60万円とここ数年大幅に増加している。今後の発展を期待するところである。奥大山スキー場は休業したが、いち早く町、地元、その他関係機関と連携を図り、オールシーズンを通じて、奥大山江府町に賑いを取り戻せるよう努められたい。

③江府町義務教育学校が、令和４年度から江府小学校と江府中学校を一つにして設置される。児童、生徒たちが自信と誇りを持ち、自分自身で人生を切り開いていく「人間力」を育むよう、きめ細かい教育環境の整備を期待する。また、対外的にも「江府町で学びたい」と思わせるような、特色のある児童、生徒の育成方針や手法による人材育成と、町づくりの活性化に繋がるよう努められたい。

④奥大山農業公社の令和元年度決算は黒字であるが、町からの運営補助金が540万円支出されている。農家の担い手はますます高齢化して、農業公社の役割はさらに重要になると思う。今後の公社のあり方、業務執行体制（職員体制）等について検討されたい。

決算の審査

一般会計

Q 公共用地の賃貸契約の見直しや買い入れの努力はされているか？

A 現在19件25，385㎡の用地の借り上げをしており、契約更新時に協議を行っている。

Q 老朽化施設の取り壊しを含めた今後の方策は？

A あり方検討員会の答申を踏まえ、維持管理経費の削減を含め、今後の処理を検討する。

取り壊し予定の旧明倫小学校校舎

Q 国内交流については、他町では盛んにおこなわれているが、本町での取り組みは？

A 関西交流会は令和2年1月に発展的解消を行っており、今後は「江府町ファンクラブ」と「ふるさと大使」の活用により、取り組んでいきたい考えている。

Q 消防団員が各分団とも、定員を満たしていないが、特に役場職員で編成されている第2分団については、職員の危機管理意識の低下が懸念されるが、対応は？

A 団員確保に向け早急に対応する。

防災訓練

Q 江府町防災計画の見直しは？

A 令和3年度前半で出来る予定である。

Q 重要財源である、ふるさと納税の状況並びに今後の対応は？

A 令和元年度は、1千5百万の寄付があり、前年度より5百万円の増であった。返礼品の見直し、寄付サイトの増設等を行い、増額に取り組みたい。

Q お試し住宅の現状は？

A 8月7日にオープンし、現在2組の方の、1泊ずつの利用があった。1泊から3ヶ月間の利用ができ、NPOと協力しながら取り組んでいく。

Q 義務教育学校の設置が決まり、新しい学校教育が始まるが取り組み状況は？

A 教育委員も参加し、関係機関と十分に協議・連携を図り取り組んでいる。

Q 新庁舎への移転後の防災情報センターの利用方法は？

A 新庁舎での公民館機能は、議会開催との関係で、利用が限られるので、公民館活用を考える必要がある。分庁舎的な活用も検討しているが、職員の配置が必要となる。図書館機能を充実していく。

Q 今後の町を支えてくれる、青年団の活性化を図る必要があると考えるが、活性化への何か援助があるか？

A 現状補助等は行っていない。今後は町にアピールできるような団体に育てたい。

Q 青少年育成江府町民会議や子供会の活性化については？

A 町民会議については、活動内容等を再検討し、子供会のない集落も活用を含め活性化を図る。

新しい利用方法が期待される防災情報センター

Q 江府町農業の下支えをしている農業公社の今後の方針は？

A 職員が業務に専念できるように的確な人員配置が必要であり、ワーキンググループにより検討を行い新年度予算に反映する。

Q ナラ枯れ対策は？

A 伐倒駆除を進めているが、対策区域を定め、今後の方針を決定していく。

Q 鳥獣被害対策については、猟期での捕獲補助や、必要な集落への、捕獲檻の設置等の検討は？

A 狩猟免許所持者や集落での共同作業での取組等併せて検討を行う。

Q エバーランド奥大山・木谷沢・スキー場の状況は？

A スキー場は指定管理者が決まらず休止している。エバーランド奥大山は施設管理のみを行っているが、スキー場を含め、指定管理にこだわらず、木谷沢渓流の遊歩道の改修に併せ運営・利用の検討を行う。

エバーランド

特別会計

住宅新築資金等貸付事業

Q 現在の償還状況は。

A 貸付事業はすでに終了した。滞納者には電話と面談により督促している。特性上住民課など他課とも協議をし、早期の完納に努力します。

木谷沢渓流

国民健康保険

Q 医療給付費が増加傾向にあるが、対策は。

A 特定健康診査及び特定保健指導を行っています。特定健康診査受診率は県内上位です。今後とも早期発見、早期治療して医療費の抑制に努めます。

介護老人保健施設

Q 現在の運営状況は。

A 8月末時点で、短期入所も含む入所者数は70名。入所待機者が47名。以後、感染症予防やご家族の要望に真摯に取り組み、満床80名に対し、90％を下回らないよう維持することを目指します。通所リハビリテーションについては、定員30名に対し85％の一日25名の稼働を維持することを目標にしていますが、思うように進捗していません。現利用者の中に、回数を増やしたい方もおられ、希望を受けるようにしていきます。

介護保険事業

Q 介護認定者数が増加傾向にあるが。

A 年度末の介護認定者は315人であり、90歳以上が増加傾向にあり、今後とも予防事業をさらに充実し、明るく健康的な高齢化社会を構築していきます。

索道事業

Q 施設の休止で管理費だけの予算計上であるが方向性は如何か。

A 現在休止中の事業であるが、維持管理については安全を念頭に入念に行います。維持費についてはワーキンググループでの協議により電気料金などの軽減を図ります。

簡易水道事業

Q 現在の水道事業の状況については

A 年度末の給水人口は2，788人であり普及率は100％に近く、料金の増額改定や維持管理の削減に努めた結果、経営数値は前年より改善しています。今後とも良質な水道水供給に努力します。

下水道等事業

Q 下水道全体の状況は

A 当年度の事業として特定環境保全公共下水道との接続を図るために川筋地区処理場の改修を行いました。

川筋地区処理場

決算特別委員会
参考意見

一般会計

令和元年度一般会計決算は、歳出が、36億8，879万円であり、前年対比で16．3％増加、歳入では、38億4，699万円、17．7％の増加となっている。令和元年度決算における実質公債費比率は13．4％となり、平成30年度より、0．8％増加したが、早期健全化基準とされる25％を相当下回っている。人口減少時代における安心安全の町づくりに向け、福祉や防災対策に向けた投資は十分可能である。しかし、経常収支比率の86．9％は前年より低くなったとはいえ、財政の硬直化を示している。将来の大型事業を考えながら、さらなる住民サービス向上に向け、確かな財政運営に努力されたい。

総務課

新庁舎建設に伴い、職員の意識改革・行政対応の改善など、行政サービスの向上に取り組まれたい。また、旧庁舎・山村開発センター・日輪閣などの公共施設の使用については、効率的な再利用をされたい。

効率的な利用が期待される開発センター

消防団員の定員割れについて、特に町職員で構成されている第2分団においては、職員の危機管理意識の低下が懸念される。昨今の災害の発生を鑑み、町民の生命財産を守るためにも、団員の定数を確保されたい。

住民課

公共交通機関の充実は、本町の重要課題である。さらなる利便性の向上に努力されたい。

税の収入は、行政遂行の基本であり、他の徴収と連携強化を図り、滞納が無い様、最善の努力工夫をされたい。

移住定住問題は町づくりに大切な政策である。住宅の新築を図るとともに、空き家対策・お試し住宅の有効利用等を積極的に推進されたい。

福祉保健課

介護施設の現状が厳しくなるなか、勤務条件の充実などによりスタッフの確保や、関係機関との連携強化を図り住民サービス向上に努められたい。

子育て支援は本町の重要課題であり、児童虐待対策や、育児相談など、関係機関が連携を取り、移住定住に繋がるような体制構築に取り組まれたい。

農業委員会

荒廃農地の防止、遊休農地の解消を図り、農地の生産性の向上にさらに努力するとともに、農地の集積化、営農集落組織の推進や、多様な団体との連携を強化し、持続可能な農業経営を構築されたい。

農林産業課

高齢化が進み、担い手不足が深刻となっている。集落営農の組織化・農業公社・奥大山のブランド化・観光事業などとの連携を強化し持続可能な江府町農業の推進を図られたい。また、鳥獣被害は猟友会と地域住民との連携、捕獲施設の充実による、被害の撲滅と、ジビエ事業との連携による奥大山地美恵のブランド化の推進に努力されたい。

建設課

過疎高齢化により、土地境界の管理が困難となりつつある。地籍調査事業の進捗を急がれたい。

町道等の施設管理は、住民生活に大きな影響があり、災害の未然防止や、住民サービスの向上に努力されたい。

子供の国保育園

安心・安全な保育園運営には、職員体制の確保と職場環境改善が重要であり、その確保に努められ、また、施設の老朽化に伴う将来設計を研究されたい。

教育委員会

義務教育学校の設置が決まり、新しい学校教育が始まるが、関係機関と十分な連携を図り準備をされたい。

中学校卒業後の生徒の繋がり、郷土への関心を図る体制作りを構築されたい。

図書館や公民科施設のより住民が利用しやすい施設運営に努められたい。また、人権教育のさらなる充実と、社会教育の向上に研究努力されたい。

江府町義務教育学校となる江府小学校（ぶなの森校舎）と江府中学校（日野川校舎）

特別会計

住宅新築資金等貸付事業

①貸付事業はすでに終了し、督促事務に対応している。引き続き収納事務に努力されたい。

国民健康保険（事業勘定）

①国民健康保険事業費として財政主体である県に納付金として、6千170万円程の支出をしている。特定健康診査受診率は県内5位の成果であった。

国民健康保険（施設勘定）

①江尾診療所医科・歯科とともに地域医療の要としての役割を担っている。

②派遣医による専門的な外来により、生活習慣病や認知症の対策を行った。

③俣野地区の4集落の300人の命と健康を守るためにより地域住民に近い場所で寄り添う医療を中心とした保険・医療・福祉の連携した成果が見られた。

介護保健事業（保険事業勘定）

①認知症対策、介護予防に力を入れ、介護給付費の抑制が図られた。

②高齢化が進むことにより一層の介護予防事業が重要になっていくことに注意。

③認知症対策と介護予防に力を入れ、介護給付費の抑制を図られたい。

④安心ホットライン設置事業。登録件数　41件

網戸の新設工事を行っている江尾診療所

介護老人保健施設（あやめ）

①送迎車2台購入、給湯器取替工事等設備にはそれなりの予算が盛り込まれている。

②一方入所者の受入れ・職員の確保にはしっかりと計画に沿って確実な実績を目指して頂きたい。

③福祉保健課は定期的に運営協議会の開催に尽力されたい。

簡易水道事業会計

①令和2年3月末普及率は99・57％だった。

②料金の増額改定や維持管理経費の削減に努めた。

③経営は、純損失30，325千円と前年度より4，903千円、改善した。

下水道等事業会計

①総括事項、令和2年3月末処理人口は2，579人で接続率91・71％だった。経営は、純損失1，500万円で前年度より3，618千円と改善した。

介護老人保健施設あやめ

補正予算

今議会において12件の補正予算案が上程されいずれも承認されました。

一般会計 補正総額 3億3,226万円

今年度予算総額 49億7,449万円

となりました。

※新型コロナ対策事業分

歳入（国庫支出金）

9,860万円

取得された佐川の土地と建物

歳出（主なもの）

総務費	総務費	民生費	衛生費
電子会議システム導入事業	就業管理システム導入事業	江尾診療所改修事業操出金	簡易水道事業（給水車導入）
690万円	997万円	3,000万円	1,720万円

※その他

歳入（地方交付税、国庫支出金、町債等）　2億3,257万円

歳出（主なもの）

総務費	民生費
土地および建物の取得（江府町佐川字阿弥陀免875番ほか5,198㎡）	指定管理委託料（老人健康保険施設あやめ赤字補てん）
3,000万円	3,600万円

長年の功績により

川上富夫議員が自治功労表彰

この度、鳥取県西部町村議会議長会（会長：日野町　小谷議長）の規定により、川上富夫議員が自治功労表彰を授与されました。

川上議員は、町議会議員として通算で18年以上在職。この間に、議長も務められました。長年の功績に対し、敬意を表します。

各種組合報告

日野病院組合議会報告書

令和元年度病院事業等の決算について報告があり、これを承認した。

【総括的事項】

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、ＣＴ（平成22年度更新）・ＭＲＩ（平成25年度更新）等の診療機器や無菌手術室をを備え、一般病床99床（内、地域包括ケア病床25床）の入院業務と20診療科の外来診療に加え、訪問診察を行った。また、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。

【医業収支】

病院事業の医業収益は、前年に比べて入院患者数・外来患者数ともに増加し、増収となった。また、在宅介護支援事業は、利用者・件数ともに増え、増収となった。診療所事業は、患者数は増えたが診療単価の減少により、減収となった。

全体では4,139万円の増収となった。

費用は、給与費や減価償却費・材料費が増加し、6,747万円の増となった。

結果、収益合計14億997万円、費用合計17億6,563万円となり、差引△3億5,566万円で、医業収支は前年より2,609万円の減となった。

※「医業収支」とは診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費･経費等を支出とした収支をいいます。

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告書

令和２年第２回日野町江府町日南町衛生施設組合議会定例会報告がありこれを承認した。

第６号議案においては、令和元年度における歳入歳出決算が報告された。

歳入総額　　1億7,219万円
歳出総額　　1億6,107万円
差引残額　　1,112万円
差し引き残額については、翌年度に繰り越しとする。

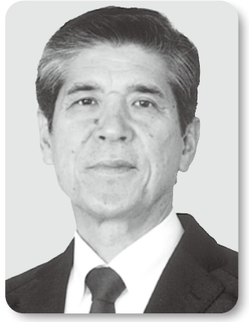
陳情の審査結果

件　　名	提出者	審議結果
国の責任による「20人が学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情	新日本婦人の会　鳥取県本部 会長　山内　淳子	趣旨採択

一般質問 **町政ここを問う**

一般質問は４人の議員が行い、町長の方針をただした

「未来計画に安全安心の町づくり」と「インターチェンジ活用」を



川端 登志一

動画で一般質問

川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

安心安全について

質問 本年7月の江府小学校における不審者事案について初動対応は。

教育長答弁 警察に通報、防災無線による町民への周知、保護者へ文書による報告、児童に注意喚起、更衣室の内外にすだれを設置した。

質問 抑止力として防犯カメラの設置は。

町内に設置された防犯カメラ

町長答弁 不審者対策は、数多くの方が学校の安全管理に係ることにより抑止力となると考え設置していない。

質問 日野川本支流の河道掘削について今後の予定は。

町長答弁 日野川については新庁舎付近、江美の里下流、佐川集落下流、支流では小江尾集落上流、下蚊屋集落上流などを計画している。

質問 コロナウイルスに対応した生活様式について予防用のマスク、消毒、手洗いでかさむ水道代などについて補助してはどうか。

町長答弁 国からの支援給付金も出たので、其々の家庭や個人で努力されたい。

質問 町職員や学校関係者は顔の見えるマスクの着用を。

教育長答弁 必要に応じてフェイスシールド等を使って表情を見せながらコミュニケーションをとることが望ましいと考えている。

インターチェンジを活用した町づくりと周辺整備について

質問 江府町未来計画、第2期地方創生総合戦略に米子道4車線化や江府道路完成後を見越した施策を取り入れるべきと考えるが。

町長答弁 住環境や人口増、仕事の面を中心に考えておりインターチェンジ等を直接結び付けることは考えていない。

質問 佐川地区周辺への先行投資は重要ポイントとなると思うが。

町長答弁 6月に予算付けをした買収土地の活用も含め是非、第2期地方創生総合戦略に位置付け着実に前進させたい。

質問 コロナ禍を機に、サテライトオフィスなどの誘致に積極的な声掛けは。

町長答弁 誘致については相手が望んだ時に素早く行動をするほうが有効であるが「ワーケーション自治体協議会」などに参加して、成果を出したい。

質問 小江尾工業団地を住宅用に変更し、地元の若者や移住者に無償分譲しては。

町長答弁 まずは、佐川の取得地から整備しその成果によって考える。

質問 米子道通行料の補助があれば色々な面でメリットあると考えるが。

町長答弁 確かに町の売りになると思う、今後の検討課題としたい。

質問 蒜山インターを視野に入れ木谷沢周辺の施設整備を急ぐべきと考えるが。

町長答弁 現在進行中のワーキンググループでの検討結果を待ち、進めていきたいと考えている。

進む、米子道４車線化工事

若者定住に向けた住宅政策を

空場　　語

動画で一般質問

空場議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

これからの住宅政策について

質問 江府町の町営住宅は、30戸ありますが、建築年数は15年が1戸で、20年前後が多く、40年の住宅があります。建て替えが必要となります。

これからの江府町の住宅政策を考えるうえで、20代・30代の若者のＩＵターンをしての定住促進を図るべきと考えます。

町長の所見を伺います。

佐川町営住宅

町長答弁 若い世代が定住して、子供たちが増えていくことが理想の町づくりです。

移住、定住で、人口の社会増を目指している江府町ですが、今ある住宅を活かしていきながら、住宅政策を進めていきたいと考えています。

一箇所にまとめた住宅団地を

質問 これからの住宅を考えるなら、一箇所にまとめた住宅団地が良いと思います。

一戸建の町営住宅や若者・単身者や高齢者が入れるシェアハウスの集合住宅の団地はどうでしょうか。

住宅団地の建設は民間企業との共同開発・運営する官民一体の方法が良いと考えますが、町長のお考えを伺います。

町長答弁 住宅団地は難しいと考えています。

企画を町で、建設・維持管理・運営は民間で行う方式は具体的に検討して行きたい。

小江尾工業団地に住宅団地を

質問 小江尾工業団地に2万8千㎡の造成地があります。2年前の質問で町長は、具体的な活用策があれば検討するとの答弁でした。

ここに住宅団地はどうでしょうか。

分譲型町営住宅、各種のシェアハウス住宅の建設や避難所を兼ねた公民館・公園のある住宅団地。

分譲住宅は10年後には個人に分譲する。

メリットは、固定資産税・維持管理費不要・定住による住民税等々。

遊休地の活用策にいかがでしょうか。町長の所見を伺います。

町長答弁 住宅は佐川の住宅を考えています。ある程度の見込みが出たら動けばと考えています。

佐川の住宅予定地には保育園を

質問 現在の保育園は築40年以上で、狭い橋を渡る等不便で、災害の危険性があります。

佐川の住宅地は、交通の便が非常によく、自然や立地条件が良いと思います。

佐川に保育園を建てて、若い世代に「夢のある町・江府町」をアピール出来ると思いますが、町長の所見を伺います。

町長答弁 保育園の事も考えました。佐川の土地は、今の保育園と同様の面積です。保育園を建てると住宅が建てられないので、難しいと考えます。

子供の国保育園

持続可能な人口増加の方策について

～関心を寄せられる町にするために～

森田　哲也

動画で一般質問

森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

「人」と「地域資源」

質問 人口減少時代になり、一時的な補助金や支援だけでは、全国で限界を感じている。定住の共通点は、「人」と「地域資源」といわれる。「人が人を呼ぶ」政策が重要と思うが。

町長答弁 法人こうふのたよりの努力もあり、移住・定住相談が3倍位増加している。住宅建設と合わせて、関係人口増加にも力を入れたい。

質問 地方に関心を持つ人は増えている。中でも、集落の一員として農業や出役に取り組む人は貴重な関係人口。調査をすべきと思うが。

町長答弁 一律的な掘り起こし調査は困難。集落・個人から、意見を聴収し、対応していきたい。役場や法人こうふのたよりに相談して頂きたい。

市町村の対応差が

質問 移住が多い所は、市町村の対応差があるという。本町協力隊の定住率が、2期以降、大きく減少している。面倒見、熱意に差があると町長の話にあった。連携ができているか。

町長答弁 協力隊については最近では定期的に連絡を取り合い、起業相談や実現に向け、職員の相談体制もできてきた。

実際に活動する人が

質問 地方を目指す動機・価値観が変化し、若者が多くなった。受け入れ側の意識改革が重要。面接官は、実際に一緒に活動する人が対応すべきと思うが。

町長答弁 協力隊などは、基本となる町側の人と、実際に現場で活動する人を加えたい。

質問 自分の家、地域、仕事の後継者は、広く多様な人物を想定し、専門的な組織が関係を深め、経営支援など、担い手確保に地域を取り込むことが、将来に向けての人口確保に、つながると思うが。

町長答弁 今後、農業だけでなく、商工業者などの担い手確保に、事業継承で本町に定住する視点を考えた募集もしたい。

持続可能な政策を

質問 住宅事業は、人口増加には重要。ただ一時的施策だけでなく、教育・福祉や、コロナ禍でさらに重要視されるリモートワーク事業の勧誘など、全職域で持続可能な連携事業・政策が必要と思うが。

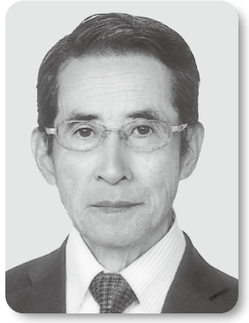
町長答弁 住宅事業だけで済む問題ではない。顔の見える関係で福祉、教育は、充実していると思う。限られた職員だが、意識改革をして、人口増に向けて一丸となって、取り組んでいきたい。

注目される町づくり

質問 少し不便でも、人のつながりの中で暮らしてよかった、と感じる楽しいまちづくりに、「地元愛」と「関心」を持って取り組まれることを、2期目の白石町政に期待したい。

東祥寺で行われたこだいぢ踊り

町民が期待する行政手腕



三輪　英男

動画で一般質問

三輪議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

町道下安井舟場線の工期見直しについて

質問 この事業内容につきましては日野川左岸道路を整備し集落間はもとより周辺地域とのアクセス強化を図り、地域の発展に寄与し、国道181号線が被災した場合でも代替道路、迂回路として交通の安定を図るもので、そういう事業内容の下にスタートをしたというふうに理解しております。工期見直しについて具体的に状況説明を伺います。

町長答弁 この道路、日野川道路ですけども、これの整備についての経緯は今、三輪議員さんがおしゃいました通りです。長年の悲願であったものが、両町の合意によって進められたということは認識しておりますし、なかなか技術的なものもありまして、いろいろ県の方にお願いして両町の中に入っていただいたということで動いていたものであります。それが平成28年度から調査、測量設計ということで進めていたところなんですけれども、これが日野町側の工事費が多額になるということが判明して、実は日野町さんでは6月議会にこの議題が取り上げられました。そこで逆に、日野町さんに、一回話し合いせないけんじゃないかということを申し入れて、県も交えて7月8日にそういった協議の場をつくっていただいたところです。工期的には令和26年度頃までですので24年ほど延びるということになります。

公共施設見直しにおける有効利用の在り方について

質問 公共施設の見直しについて、地域の活性化を維持していくためにも、地域の拠点としての施設は是非とも必要と考えます。とりわけても明倫地区8集落の長年の思いとして、何らかの方法で地域住民が集える場所を検討して頂きたいと考えますが、所見を伺います。

町長答弁 今回地域住民が集える場所ということで検討してほしいという要望でございます。その気持ちはとってもよく分かります。

いろんな活動もされておりますし、よくわかります。ですので、公共施設の在り方検討委員会の報告の中でも、校舎については利用廃止で解体する、但し代替えとなるコミュニティスペースについて検討することという事でございます。建てるとは言っておりません。検討することということで、具体的にはどういう利用を考えておられるのか利用目的、頻度、あるいはどういう参集規模を考えておられるのかを聞かせていただくようなことをしながら、現状に即した解決案を提案していきたいというふうに考えます。

活用が期待される旧明倫小学校体育館

私のひと言

新一　宮本 香子

つながるご縁

自宅に「カフェ碧の空」をオープンして1年と8ヶ月が過ぎました。

友との待ち合わせに、習いごとが終わって、あるいは旅先で…ホッとひと息つきたい時、向かうのはいつも喫茶店でした。

「こんな場所が近くにあったらいいのになぁ。」「退職したら、私もカフェを開きたい。」…若い頃から、そんな漠然とした思いがありましたが、夢は夢のままで終わるのだろうという、最初からあきらめている自分もいました。

そんな中、退職を間近に控えた頃、思わぬ病気が見つかりました。入院・手術を余儀なくされることとなり、長期にわたる治療を受けました。

予期せぬ事態にみまわれた時、思ったのが「あの時○○しておけばよかった。」ということでした。幸い何とか健康を取り戻すことはできましたが、人生の折り返し点をとっくに過ぎているこの先で、後悔はしたくありませんでした。

仕事を1年早く辞め、介護や通院と並行しながら、たくさんの人に支えられ、昨年2月、何とかオープンの日を迎えることができました。

この地で生まれ育ち、暮らしてきた私ですが、カフェを始めなければ出会うこともなかっただろう方達や江府町のこと等、知らなかったことのあまりの多さに気づかされています。毎日が出逢いと感謝の日々です。又、小さなコンサートや店内ギャラリーでの展示を通して、たくさんのご縁と幸せな時間を共有させていただいています。時にはお客様同士の数十年ぶりの再会というすばらしい場面にご一緒させてもらうこともあります。

これからも、そんな小さなご縁がつながる場所であり続けられるよう、無理せず、のんびりやっていきたいと思っています。

新二　堀野 恭介

自分の居場所

東京から江府町に移住して1年半経ちました。

全ての始まりは東京の移住相談会でのNPO法人こうふのたよりとの出会いからでした。「一度来てみなよ」と言われてから三日後、何かあるかもと少しだけ期待して新宿から夜行バスに転がり込みました。当時私は東京でやや生きづらさを感じていました。職場に馴染めない、どこへ行っても誰といてもいまいち面白くない、周りの人間が、職場あるいは一家の主として地位を固めている。それと比べてただ劣等感を抱くことしかできない。実家でのんびりしている事が一番心地良い。このままでは何も面白いことがない。何なら日々の中で新しく挑戦することも体験することもない。だから大して振ったこともない勇気で違う世界に一人で飛び込んでみました。ただ世界を一新したかっただけ。景色も、関わる人も職場も心も。何か夢があって是が非でも実現したいことがあった訳でも、奥大山を臨む豊かな自然に惚れた訳でもない。言ってしまえばどこでも良かったのかもしれない。でも、そんな大して中身のない平凡な一人の人間に対して今現在たくさんの人達が関わってくださっています。こんなに嬉しいことはありません。

また、江府町の玄関といっても過言ではない道の駅で働かせて頂いていることも大変誇らしいことです。駅長や料理長をはじめとするみんなが「一緒に働こう」と言ってくれました。「ここに居ていいんだ」と心から思えました。そんな風に思ったことは今までありませんでした。何よりも人の温かみって大事だとつくづく思います。僕が思う江府町最大の魅力はそこです。移住してみて新鮮なことが数え切れない程あります。だからこれからも「3000人の楽しい町」で精一杯生きようと思います。

あとがき

9月定例会が終わったのが23日でした。その前日22日は彼岸の中日で、お墓参りされた方も多かったことでしょう。しかしながら今年はそのお彼岸に彼岸花が未だ咲いていませんでした。最近の異常気象のせいでしょうか。町民にとって災害の少ない穏やかな日々の生活が続くことを祈ります。一方、今議会に於いても、多額の新型コロナウイルス対策事業の追加の補正予算を議決しました。一日も早い終息を願うばかりです。

三好 晋也

広報公聴常任委員会

委員長　三好 晋也
副委員長　阿部 朝親
委員　三輪 英男
空場 語
川端登志一